

「長野県植物誌」補遺(12)

清水 建美(編)

Supplement to 'Flora of Nagano Prefecture'

Tatemi Shimizu(ed.)

p.313

ヒメコオホネ(スイレン科)

Nuphar subintegerrimum (Casp.) Makino

標本:大町市木崎湖 760 m (SHIN03344,1932 年 9 月,中村一雄)。

分布:北部。本州(東京以南)、四国、九州。

(横内文人)

p.632

アズマツメクサ(ベンケイソウ科) *Tillaea aquatica* L.

標本:大町市大町(MAK242436,1906 年 6 月,採集者不明)。

分布:北部。北海道、本州。

(横内文人)

p.675

エゾイチゴ(バラ科)

Rubus idaeus L.subsp.*melanolasius* Focke

標本:川上村武信白岩 2280 m (SHIN68792)。

分布:東部。北海道、本州(北部)。

(中山洸)

p.377

ウラジロフサザクラ(フサザクラ科)

Euptelea polyandra Siebold et Zucc.f.*hypoleuca* Mizushima et Yokouchi,nom.nud.

標本:生坂村中込沢 550 m (SHIN0156845);松本市入山辺扉鉦泉 1150 m (SHIN0151271);朝日村野俣沢 1000 m (SHIN0140005,1964 年 7 月 14 日、奥原弘人);塩尻市桜沢 1000 m (SHIN04277);檜川村橋戸沢 1100 m (SHIN0154328);木祖村塩沢 1000 m (SHIN116146,1965 年 6 月 18 日、奥原弘人);山口村賤母国有林 400 m (SHIN117182)。

分布:中部・南部。

(横内文人)

p.380

キシシマミズキ(マンサク科) *Corylopsis glabrescens*

Fr.et Sav.

標本:穂高町烏川 (SHIN00028)。

分布:中部。九州(霧島山)。

(横内文人)

p.546

ハマガラシ、ヤンバルガラシ(アブラナ科)

Coronopus wrightii Hara

標本:白馬村親海湿原 700 m (MAK65089,横内齋、1966 年 7 月 7 日)。

分布:北部。沖縄。

(横内文人)

p.546

ゴウダソウ(アブラナ科) *Lunaria annua* L.

標本:白馬村深空 (SHIN180331)。

分布:北部。ヨーロッパ原産の帰化植物。

(横内文人)

p.625

ベニノリウツギ(アジサイ科) *Hydrangea paniculata*Siebold f.*rosea* Makino

標本:山ノ内町角間川 1450 m (SHIN007911);上村 1700 m (SHIN007948)。

分布:北部、南部。

(横内文人)

p.653

エゾクロクモソウ(ユキノシタ科) *Saxifraga fusca*

Maxim.

標本:長谷村仙丈ヶ岳(KPM20861,大場達之,1953 年 8 月)。

分布:南部。北海道、本州(北部)。

(横内文人)

p.701

オオナナカマド、オオバナナカマド、エゾナナカマド(バラ科) *Sorbus commixta* Hedl.var.*sachalinensis*

Koidzumi

標本:大町市葛温泉~濁小屋(KPM55141,高橋秀

男、1956 年 6 月)。
分布：北部。北海道。

分布：北部。

(横内文人)

(横内文人)

p.931

ジュウニキランソウ (シソ科) *Ajuga* × *mixta* Makino
標本：穂高町牧 600 m (SHIN87668、1930 年 5 月 7 日、横内齋)。
分布：中部。ジュウニヒトエとキランソウの雑種。

(横内文人)

p.952

シロバナウツボグサ (シソ科) *Prunella vulgaris* L.
subsp. *asiatica* (Nakai) H. Hara f. *albiflora* Nakai
標本：美麻村新行 900 m (SHIN35423)。

p.1463

ホテイアツモリ (ラン科) *Cypripedium macranthum*
Sw. var. *hotei-atsumirianum* Sadvosky

標本：長谷村北荒川岳 (TNS905962、1925 年 8 月、小泉秀雄)；西穂高岳 2900 m (TNS905952、1926 年 8 月、小泉秀雄)；同 (TNS905970、1926 年 8 月、小泉秀雄)。

註：この 3 点は、産地・標高は再確認の必要がある。
新聞紙の余白に「北荒川」「西穂高」としてあったものの誤認かと思う。当時の調査記録に北荒川岳・西穂高岳への調査は確認できていない。

分布：中部、南部。本州 (中部)。

(横内文人)